

「交通事故のない安全で

安心な北海道をめざして」

北海道知事 鈴木直道



ドライバーの皆様には、日頃から安全運転に努めていただき、心から感謝申し上げます。また、関係機関・団体の皆様には、道内各地域において交通安全運動に取り組んでいただいていることに、厚くお礼申し上げます。

令和七年も残りわずかですが、今年、交通事故によって亡くなられた方が、既に昨年一年間を上回っています。二月と九月には、二年ぶりに「全道交通死亡事故多発警報」を公表したところであり、極めて深刻な状況と考えています。

交通事故の防止においては、道路

交通環境の整備や悪質な違反の厳罰化、安全運転サポートカーの普及促進など事故を起こさせない環境づくりと、ドライバーや歩行者、自転車を利用する皆様の「交通ルールを守る」という強い意識、この双方が重要であり、皆様のご協力が不可欠です。

道、道警察、市町村、関係機関・団体においては、「ストップ・ザ・交通事故」をめざせ。安全で安心な北海道。この年間スローガンの下、①歩行者保護意識の醸成と歩行者のマナーアップ、②高齢者の安全確保、③飲酒運転の根絶、④スピードダウンと全席シートベルト着用などの徹底、⑤乗車用ヘルメットの着用などの自転車等の安全利用、⑥安全意識の向上、この六つを重点項目として取り組んでいますので、皆様にも、それぞれできることに取り組んでいただきたいと思います。

特に、重大な犯罪である飲酒運転

に関しては、「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という強い決意を多くの人の間で共有することが重要です。飲酒運転を絶対に見逃さないという「社会の目」を道内の隅々まで広げ、多くの皆様とともに「飲酒運転ゼロの北海道」を目指していきたいと思えます。

本格的な冬を迎え、スリップや視界不良による冬型事故を防ぐためには、冬タイヤの確実な装着、天気や路面状況の確認、車間距離の確保などの十分な準備と注意が必要です。

交通事故を一件でも減らし、事故の犠牲者、加害者が一人でも少なくなるよう、一人ひとりが交通安全を実践するとともに、身近な人や地域の方々と交通事故防止の意識を共有し、道民一丸となって、安全で安心な北海道の実現を目指していきましょう。

過去7年間の交通死者数都道府県別ワースト5

年別 順位	平成30年	平成31/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1	愛知/189	千葉/172	東京/155	神奈川/142	大阪/141	大阪/148	東京/146
2	千葉/186	愛知/156	愛知/154	大阪/140	愛知/137	愛知/145	愛知/141
3	埼玉/175	北海道/152	北海道/144	東京/133	東京/132	東京/136	千葉/131
4	神奈川/162	兵庫/138	神奈川/140	千葉/121	千葉/124	北海道/131	大阪/127
5	兵庫/152	東京/133	千葉/128	北海道/120	兵庫/120	千葉/127	埼玉/113

北海道における過去10年間の事故発生状況

年	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31/R.1	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6	平均
発生件数	11,123	11,329	10,815	9,931	9,595	7,898	8,304	8,457	9,082	8,743	9,528
死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139
負傷者数	13,117	13,489	12,673	11,494	11,046	9,043	9,598	9,785	10,601	10,297	11,114